

自然情報は「BOOK 愛ランド礼文」にあります。

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

レブンクル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP http://www.h3.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm」
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

厳冬期の植物の様子

今年の冬はとても寒く感じます。昨年12月から礼文島の気温は-10 前後が続き、12月12日には-12 を記録しました。雪も多く積雪は1以上あり、庭の草花は厚い雪の下に埋もれています。それでは雪の下の地表温度を測ってみましょう。12月初旬積雪が50cm以下のときは-1.3 でしたが1月になってからは-0.8 ~ -1.0 で安定しています。1月の外気温は-0.2 ~ -13.4 と寒暖を繰り返していますが、雪に覆われた地表温度は-1 付近で安定しているのです。地面から50cm下の地中の温度はもっと暖かくプラス温度で安定していると思います。北海道も内陸にゆくと気温が-30 以下の地域がありますが、積雪が多ければ地面の温度は礼文島よりもさらに暖かいのではないのでしょうか。北海道の積雪地帯の植物は、半年間雪という毛布にくるまってぬくぬくと冬眠して、春になるのを待っていると言えるでしょう。

ところで礼文島西海岸の高山植物の花々が咲く地域は風当たりが強く積雪が少ない、とても寒さが厳しい地域なのです。雪もつかない岩肌は-10 の気温に加え、風速10m以上の風が吹きつけて来ます。冬、桃岩展望台やウスユキソウ群生地に行くとき高山植物の育つ環境を体感できます。東海岸では穏やかで暖かい日でも尾根の上では5分とじっとしていられません。表土だけではなく植物の根まで凍る、半端根性では冬を越せない地域なのです。礼文の花々はそんな厳しい環境に耐えながら、徐々に徐々に勢力を広げて原生花園を創りあげたのです。夏の華やかな原生花園はこの冬を幾年も越えてきた花々の宴です。冬の原生花園を歩くと、夏の花の美しさをよりいっそう大切なものを感じられます。

礼文島の野鳥 VOL7

2001年1月発行 1部200円。

ご希望の方レブンクルにご注文して下さい。



オオワシ 2000年2月10日 ベンサシ

オオワシ・オジロワシ一斉調査2001年

日時：2月18日、0900～1100

場所：スコトン岬、金田岬、スカイ岬、元地、知床ベンサシ、等。自分の好きな場所で記録をとって教えて下さい。参加できる方記録用紙差し上げます。



第四回北海道高山植物 盗掘防止全道シンポジウム

日時：2001年2月25日（日）13時30分～17時30分

場所：北海道大学学術交流館 札幌北区北8西5

第1部報告と討論13時30分～16時

一分科「盗掘防止活動の経験交流」

二分科道条例制定後の検討と山野草関係者の役割

第2部スライドと講演16時10分～17時30分

「国後島爺爺岳の植物」北海学園大学佐藤謙教授

礼文島の
花ガイド
・礼文花
の鳥花の
道・北海
道新聞社
発行

礼文島のウミガメの話

礼文島在住の古川さんによれば、1948年、金環日食観測の年、船泊五番地の浜に畳3帖ほどもある大きなウミガメが上がったそうで、酒を飲ませて海に帰したそうです。
また、沼ノ沢の道場さんによれば、30年ほど前大備の浜に赤い鱗甲の亀の死体があり、その上に乗った覚えがあるそうです。
昨年は礼尻でもアカウミガメが漂着しました。今までにウミガメの漂着した話や保護したことを覚えている方教えて下さい。



ゴマフアザラシ 1998.2.13. 知床漁港

傷ついたり
死体を見つけた
ときは連絡下さい

2000年、野鳥野生動物保護記録

- 11.29.ドブネズミ死体・香深井三上
- 11.22.ドブネズミ死体・香深井三上
- 11.16.オオアシトガリネズミ死体赤岩宮本
- 11.15.エゾサンショウウオ保護・元地小野
- 11.02.エゾリス雄・鬼土別宮本
- 11.02.トラフズク?死体・内路小本
- 10.30.オオコノハズク保護尺忍森尾-放
- 10.26.ミヤマホオジロ雄死体・大備新山
- 10.23.ウグイス雄死体・入舟丸谷
- 10.22.オナガガモ雌死体・内路高島
- 10.22.ウグイス雄保護・内路小本放鳥。
- 10.16.センダイムシクイ?死体津軽町片川
- 10.03.クロジ雄死体・鉄府野上
- 09.26.ウグイス雌死体・内路松田
- 09.14.コマドリ死体・入舟丸谷-埋葬。
- 08.14.ウグイス雌死体・入舟宮本
- 05.25.アカエリヒレアシシギ死体8幌泊須藤
- 05.24.アカエリヒレアシシギ死体1五番福岡
- 05.09.コテングコウモリ保護・香深井藪谷
- 04.23.オオワシ漂着死体・香深井須田
- 04.05.イルカ(ネズミイルカ?)漂着死体
- 04.01.アオシギ保護・入舟金田一
- 03.00.ヒメトガリネズミ死体・入舟鈴木
- 03.25.アトリ雄死体・会所前山口
- 03.25.シメ保護・入舟中村-後没
- 03.08.クジラ2頭漂着・幌泊合場
-1頭はオオギハクジラ-26日流れた。

サロベツの花ガイドは・サロベツ花原野の花の道・北海道新聞社発行

「やませの森」活動報告

昨年の自然クラブの活動報告を行います。
平成12年度旭川分局流域管理技術交流発表会
日時：2月23日(金) 9時~16時
場所：北海道森林管理局旭川分局
旭川市神楽3条6丁目 JR旭川駅バス10分

2001年1月自然日誌

- 1日、雪-3.5~-5.3。利礼航路全便欠航。吹雪。
- 2日、雪-5.8~-7.2~-6.6。利礼航路天候調整。
元地猫岩付近オオワシ2、オジロワシ。
須古頓オジロ1、オオワシ1。
海馬島アザラシ260頭、オオワシ2。
上泊アザラシいない。
- 3日、吹雪-6.0-2.8-0.5。利礼航路全便欠航。
- 4日、吹雪-0.2-3.0-4.3月最高気温。
利礼航路全便欠航。スキー場ナイター初日。
- 5日、吹雪-5.5-1.7-4.5。全便欠航。消防出初め式
- 6日雪-6.5-9.7。7日雪-8.9-7.3宗谷岬に流水接岸。
- 8日、晴れ-7.7-8.5-7.8流水ダイヤ利礼航路午後欠航
稚内港流水で埋まる礼尻のそばまで流れる。
- 9日、晴れ-7.7-4.2。流水ダイヤ、午後欠航。
五番地コオリガモ。金田岬ウミウ。
上泊アザラシ57、ヒメウ。香深井オジロワシ。
- 10日吹雪-0.5-4.5。流水ダイヤ午後欠航。
- 11日雪-8.7-11.2。霊神様。午後欠航。
- 12日雪-13.4月最低気温午後欠航。13日雪-9.4午後欠航
- 16日、雪-10.8-10.6。上泊ゴマフアザラシ21。
五番地コオリガモ、クロガモ、ピロードキンクロ
海馬島アザラシ280、鷲5。
ベンサシ-オオワシ1、オジロ1、アザラシ数頭。
- 18日今年一番の晴天-11.2。久種湖にオオワシ-上田
南西に金星が明るい。
- 19日、晴れ-7.7-3.1。船泊湾オジロワシ飛翔一上田。
- 26日、晴れ-6.9-4.0。午後利礼航路欠航。
- 27日、晴れ-6.9-5.1。礼尻すっきりピークまで見えた
ベンサシ風冷たいアザラシ数頭、オジロワシ1。
- 28日晴れ-4.3-3.3ゴメが騒いだ。
- 31日、晴れ-7.7-3.4。礼文滝散策、地藏岩ヒメウ群、
地藏岩オオワシ3、オジロワシ2飛翔。



2000年2月 2月は礼尻山頂がはっきりと見える時期。

礼文島の
花ガイド
・礼尻山
の鳥花の
道・北海
道新聞社
発行